



ネットめばえ



発行：公益財団法人兵庫県生きがい創造協会 西播磨文化会館内 西播磨生活創造プラザ
〒679-4311 たつの市新宮町宮内 458-7 URL: <http://www.k2.dion.ne.jp/~w-bunka2/index.html>

米作り体験にチャレンジ！

☆お米たちに ねがいをこめて ありがとう

平成 28 年度、太子町立斑鳩小学校 3 年生 64 名が米作り（水稲栽培）にチャレンジしている。学校から歩いて西へ 20 分程の所に阿曾地域があり、昔も今も農業が盛んなところである。阿曾自治会、阿曾レンゲの里営農組合と地元の JA の協力で、田植えから収穫までの過程を昔と今の作業を通して米作りの一年を体験している。

6月17日（金）田植えをしよう！

昔の田植の仕方を体験する。代掻きの終わった泥田に素足で入り苗を手に持ち植えていく。続いて田植え機を使っての作業を見る。会長さんは「昔に比べ大変仕事が楽になった」と話された。

☆大変だ 手植えはとても 疲れたよ



田植え

植えてから時々様子を見にくる子や夏休みの自由研究の題材にした子もいた。自分で植えたお米への関心の深さ（いとおしさ）がわかる。

10月19日（水）稲刈り体験をしよう！

昔はすべて手仕事でしていた。鎌で刈り取り束ね、足踏み脱穀機を使っての稲刈りを体験する。今のコンバインを使った稲刈りを見る。コンバインの稲刈りをみて、手作業でした子供たちは、「今までの仕事は何やったん」と悔しそうに機械の速さに驚いていた。

☆ぼくの米 育ってくれて ありがとう

質問コーナーでは子供たちの問いに、農家の方はうれしい悲鳴をあげていた。機械の仕組みはどうなっているのか、籾摺りや稲穂が機械に入るとどうやって米だけになって出てくるのか、穂に何粒くらい米がついているのか、どうして米という字は八十八と書くのかなど、体験



脱穀機を使って脱穀中

が家庭での話題に出ている様子がうかがえた。

☆米作り 八十八 夢がある 11月24日（木）感謝の会をしよう！

感謝の会が開かれ農家の方々が学校に招待された。ガス釜で炊いたご飯でおにぎりを作り試食した。その後、グループ発表があり感動や喜びを俳句にまとめたり、米作りの一年を紙芝居にしたり、作文にも感謝の思いが詰まっていた。校長先生は「人とのつながりや温もりの大切さを体験し、地域の良さを感じて育って欲しい」と話された。子供たちの5、7、5の言葉（☆印）の中にたくさんの思いが込められていました。

【取材・文責：西村光代】

平成29年度西播磨文化会館生活創造応援隊員募集のお知らせ

- 西播磨地域に居住の方で、月1回程度当会館に集まることが可能な方、地域活動に理解のある方を募集します。
- 募集人数 20名
- 活動内容 生活創造しんぶん「ネットめばえ」の作成・配布、生活創造活動グループのネットワーク支援等
- 問い合わせ先 （公財）兵庫県生きがい創造協会 西播磨文化会館 TEL 0791-75-3663